



よう太のワーク 「こも巻き」

／掲載日：2013年10月23日／紙面：山陽新聞夕刊／掲載：3ページ

一足早く冬の装い

園内の松にこもを巻く造園業者



岡山市の後楽園で22日、松林を害虫から守る秋の風物詩「松のこも巻き」が行われた。同市の朝の最低気温は17・1度（平年12・5度）と10月上旬並み。雨が降る中、名園は一足早い冬支度を整えた。

午前9時半から造園業者10人が2、3人ずつに分かれ、アカマツやクロマツ約240本の幹に、わらを編んだこも（幅30～60センチ、長さ90～190センチ）を巻き付け、縄で縛っていた。

後楽園 松のこも巻き

東京都世田谷区から観光で訪れた伊藤早苗さん（66）は「実際に巻いている作業を見たのは初めて。季節の移ろいを感じますね」と話していた。

こも巻きは、害虫が冬を越すため枝葉から地中に下りる習性を利用した伝統的な駆除方法。虫が動き出すとされる「啓蟄」（来年3月6日）前の2月に外して焼き払う。

（平田亜沙美）

本社HPに動画

・ _____月_____日 _____年 _____組 _____番 名前_____

A 記事からさがそう。

- ① 5W (When 「いつ」 Where 「どこで」 Who 「だれが」 What 「なにを」 Why 「なぜ」) ・ 1
H (How 「どのように」) のうち、「いつ」、「どこで」、「なにを (した)」、「なぜ」をさがそう。(最初の形式段落から)

いつ _____

どこで _____

なにを _____ (した)

なぜ _____

- ② 「こも巻き」はどんな害虫駆除法？

- ③ 巻いた「こも」は今後どうなるの？

B 図書館の本やインターネットを使って調べよう。

- ① 「啓蟄」って何？

- ② 二十四節気って何？

・ _____月 _____日 _____年 _____組 _____番 名前 _____

解答例

A

いつ 10月22日
どこで 岡山市の後楽園で
なにを 松のこも巻きを（した）
なぜ 松林を害虫から守る（ため）

② 「こも巻き」はどんな害虫駆除法？

害虫が冬を越すため枝葉から地中に下りる習性を利用した伝統的な駆除方法

③ 巻いた「こも」は今後どうなるの？

虫が動き出すとされる「啓蟄」前の2月に外して焼き払う。

B 図書館の本やインターネットを使って調べよう。

① 「啓蟄」って何？

二十四節気(にじゅうしせっき)の一つ。春の暖かさを感じて、冬ごもりしていた虫が外にはい出てくるところとされる。

② 二十四節気って何？

昔は月の満ち欠けをもとにした太陰暦が使われていたが、日付と季節感がずれやすかった。そこで太陽の動きをもとに、夏至、冬至、春分、秋分の4つを基準に1年を24等分（約15日おき）し、季節を表す名前がつけられている。